

ホワイトニング同意書

説明担当者

1、ホワイトニングとは

□ホワイトニングは、歯の内部の色を分解し、歯の色調を明るく変化させる処置です。

2、白さの程度

□ホワイトニングの効果は個人差があり、歯の場所によっても白くなりやすい部分やなりにくい部分が異なります。

□治療し、詰めた物、被せた物の色調は変化しません。

そのため、これらの色調が異なり、色のギャップが目立つ場合は詰め直しなどの処置が必要になる場合があります。

□抗生物質による変色、神経の無い歯、金属による変色の場合、色調の改善が見込めないこともあります。

3、ホワイトニングによって起こり得る歯の色調について

□歯の表面に白い点や帯が現れることがあります。元々歯にあるものが、ホワイトニングにより強調されたものです。

数日経つと馴染みますが気になる場合は歯科医師、歯科衛生士にご相談ください。

4、ホワイトニング効果が持続するための理想的なオフィスホワイトニングスケジュール

□オフィスホワイトニング開始から1ヶ月の間に、3回のオフィスホワイトニングで白さを上げ、その後1か月の間隔を目安に白さを定着させます。(3回程度を目安に)

定着後はクリーニングや追加のホワイトニングを受けて頂く事で、白さを保つ事ができます。

□ホームホワイトニングとオフィスホワイトニングを併用して行う場合は、より効果的が上がり、白さも維持されやすくなります。

5、痛みや不快症状について

□知覚過敏、歯肉の熱感、粘膜の潰瘍、歯の痛み等を生じる事があります。これらは一時的なものなので、数日で治癒します。

□すでに知覚過敏の傾向にある場合、さらに悪化する可能性があります。

□当院では知覚過敏予防の薬を準備してございますので、不安な方はご相談下さい。

6、下記の項目に当てはまる方は、ホワイトニングを実施することができない場合があります。

□施術する歯に虫歯や歯周病がある場合

□妊娠中、授乳中、妊娠の可能性が高い方

□お顔の美容施術を行なった直後(オフィスホワイトニングの場合のみ)

□特定の疾患がある方

膠原病・無カタラーゼ病(高原氏病)・喘息・ヘルペス・光線アレルギー、心臓疾患(ペースメーカー使用)

*** 現在、何らかの病気で治療中の方は施術が可能かどうか主治医に確認してください。**

7、ホワイトニング後のお食事について

□直後は、酸性の飲み物、食べ物は控えてください。

柑橘系の果物、飲料、炭酸飲料、お酢及びお酢を使用した食べ物、梅干し、スポーツドリンク、ヨーグルトなど

□術後24時間は、着色性の食品は控えてください。

コーヒー、紅茶、コーラ、ウーロン茶、赤ワイン、煙草、葉巻、カレー、ベリー類、チョコレート、ケチャップ、醤油、ソース、トマトソースなど色の濃い食品、色の濃いうがい薬など

8、お薬を服用中の方へ (オフィスホワイトニングご希望の方のみ)

□オフィスホワイトニング用のライトを照射することにより、発疹や掻痒感、口腔周囲の粘膜の腫れや痛みを伴う場合があります。

向精神薬、筋弛緩剤、抗ヒスタミン薬、抗菌薬、抗真菌薬、消炎鎮痛薬、降圧薬、抗糖尿病薬、風疹治療薬、抗腫瘍薬、

白血病治療薬、高脂血症治療薬、前立腺肥大治療薬、光化学治療薬、抗リウマチ薬、ビタミン剤、クロレラなど

以上の事柄に同意し、ホワイトニングの処置を希望致します。

年 月 日 ご署名